

東京ホームタウン大学
分科会3 食を通じた地域づくり

特定非営利活動法人

福祉亭の活動

2017.2.4(土)

発表者：寺田美恵子

特定非営利活動法人 福祉亭 理事長



1. 福祉亭のあゆみとめざすもの

(1) 店舗外観





1. 福祉亭のあゆみとめざすもの

(2) あゆみ

- 平成13(2001)年8月 多摩市高齢者社会参加拡大事業運営協議会(高事協)設立
- 平成14(2002)年1月 福祉亭オープン。「東京都いきいき事業」の補助開始。
- 平成16(2004)年2月 NPO法人登記完了
- 平成16(2004)年3月 「東京都いきいき事業」の補助(計3箇年)終了。経営の自立化へ。
- 平成17(2005)年4月 NHK総合テレビ 首都圏ネットワーク取材・放映「笑顔あふれる食堂」
- 平成17(2005)年10月 日本テレビ ウェークアップ 特集「動き始めたシニア」
- 平成20(2008)年4月 映画「多摩ニュータウンわたしの街」(多摩ニュータウン映画制作委員会)の取材
- 平成21(2009)年2月 参議院第三調査会参考人として、活動状況と課題等を報告



2. 福祉亭の活動

(1) 居場所づくり(高齢者支援事業)

利用者は約50名/日、提供する定食は約40食/日。
運営はボランティアさん8人/日程度＋理事2名/日程度。
ミニデイサービス(東京都補助)として行っている「いきいき事業」は、年間49回。

①昼食(¥500)、喫茶
(¥200～)の提供



②囲碁、将棋、健康
麻雀の場所提供



③いきいき事業(唱
歌、算数サロン、
文字を書こう、体
操)



④自主活動の支援
(布と遊ぼう、お茶
手前、お酒を楽し
む会)





2. 福祉亭の活動

(2) 居場所づくり(高齢者支援事業)

利用者の主な行為

一人佇む



相談



食事



囲碁・将棋



休憩



読書・新聞



飲酒



談話



待ち合わせ



按摩





2. 福祉亭の活動

(3) 生活サポート隊の活動

在宅支援事業(家事援助)
約3000時間/年

世代をつなぐ
福祉亭 生活サポート隊

老年・高齢世代と壮年・若い世代の
 元気と知恵のキャッチボール

We support each other.

NPO福祉亭 生活サポート隊

生活サポート隊のご利用について

- 初めにサポート隊のご利用についてご説明をいたします。
- 申込書に年会費1,000円と保険料300円を添えて会員登録をしていただきます。
- サポート内容・時間は、事前にコーディネーターと打ち合わせをし、双方合意のうえで、ご利用をスタートします。
- サポート終了後、活動会員が携帯している生活サポート隊活動表の時間、利用料、交通費(公共機関)の利用を確認し、サインまたは印鑑を押して、利用料と交通費の合計金額を、サポート隊員にお支払い下さい。
- 月決めのご利用の場合のお支払い方法については、別途ご相談ください。

利用料

(月～土)	8:00～17:00	1,000円～ /1h
	17:00～22:00	1,200円～ /1h
(日・祝)	8:00～17:00	1,200円～ /1h
	17:00～22:00	1,400円～ /1h

- 保育の場合、お子さん一人に対し、サポート隊員一人が担当する事を原則とします。
- ご利用は1時間からです。
- 延長時間は、15分単位でお願いします。
- ご利用や、ご利用内容の変更等は、前日の17:00頃までに、ご連絡下さい。尚、当日になってのキャンセルは、ご利用時間の1時間分を申し受けます。
- 活動中の保険は、草の根市民福祉団体の補償共済制度保険の範囲内での補償をご理解下さい。

生活サポート隊の活動について

子育てに関するサポート

- ・ ゆとりを持ったサポートに留意しております。
- ・ 双方で、充分話し合い、サポート内容を決めていき、お子さんや、それぞれの家庭に必要なサポートに、きめ細かくお応えします。
- ・ 原則的には、子供さんの領域であるご自宅でのサポートをいたします。

毎水曜日(ミニディを運営)

永山商店街の福祉亭で、ミニディや、お昼(喫茶やランチ)の運営を(10:00～18:00)しています。

世代交流を基本に、皆さんで楽しむことをモットーに、赤ちゃん連れの方から、高齢の方まで、様々な世代の方々のおしゃべりを楽しんだり、また相談事があれば、相談スタッフもおります。

お手頃いに興味のある方、ミニディに参加してみたい方、是非一度お出かけ下さい。



保育の受託/永山公民館
(2005～2011)



2. 福祉亭の活動

(4) 世代間交流事業

- 市内中学生の職場体験の受入れ



▲中学生の職場体験



▲先生に職場体験を報告

- 周辺大学のCSL授業や卒論の学生受入れ
- 小学生から一般まで、夏休みボランティアの受入れ
- 精神障がい者通所施設「若人塾」の就労支援活動との連携



▲ボラさんどうしの世代間交流



▲月に2回の有機野菜の販売/
若人塾

3. まちづくりは終わらない

(1) 見えてきた高齢化の諸相から

① 独居高齢者のサポート不足

- ・特に男性
- ・圧倒的に人数の多い女性へのサポート)



② フォーマルサービスの制約

- ・セーフティネットとしての有効性と、無力さ



② インフォーマルサービスの出遅れ

～高齢期の地域生活には必須ながら、未だシステム化されていない



④ 居場所の必要性

～多様な人を、多様なまま受け入れる



3. まちづくりは終わらない

(2) 福祉亭界隈から

①「地域課題に立ち向かう福祉亭」を共有

→ボランティア: 参加の楽しさ、生きがい

→利用者: 利用しながら、運営にも適宜参加している



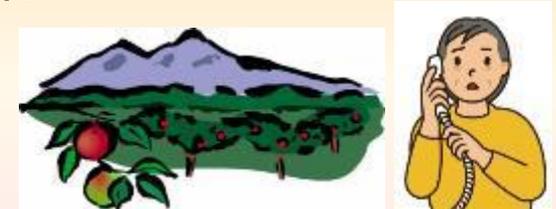
②ご近所以上・家族未満の友だちづくり

→困ったとき、助けてほしいときにも、良好な関係が保たれる・・・



③時の経過とともに迫られる関係性の再構築

→施設入所、転居、他界など



3. まちづくりは終わらない

(3) 掲げた『コミュニティの再生』の到達点

- ① 在宅生活のサポートとゆるやかな見守り
～声かけ、在宅生活支援事業へのつなぎ



- ② 生活不安への気づき
～早めにフォーマルな支援につなぐ



- ③ 小さな関係性づくり
～民生委員さん、福祉のネットワークなどから、
Eラウンジでのおしゃべり会まで





3. まちづくりは終わらない

(4) 課題の整理

① 個人情報保護の壁を地域全体で乗り越える

② 身近で、親身なコーディネーターの必要性

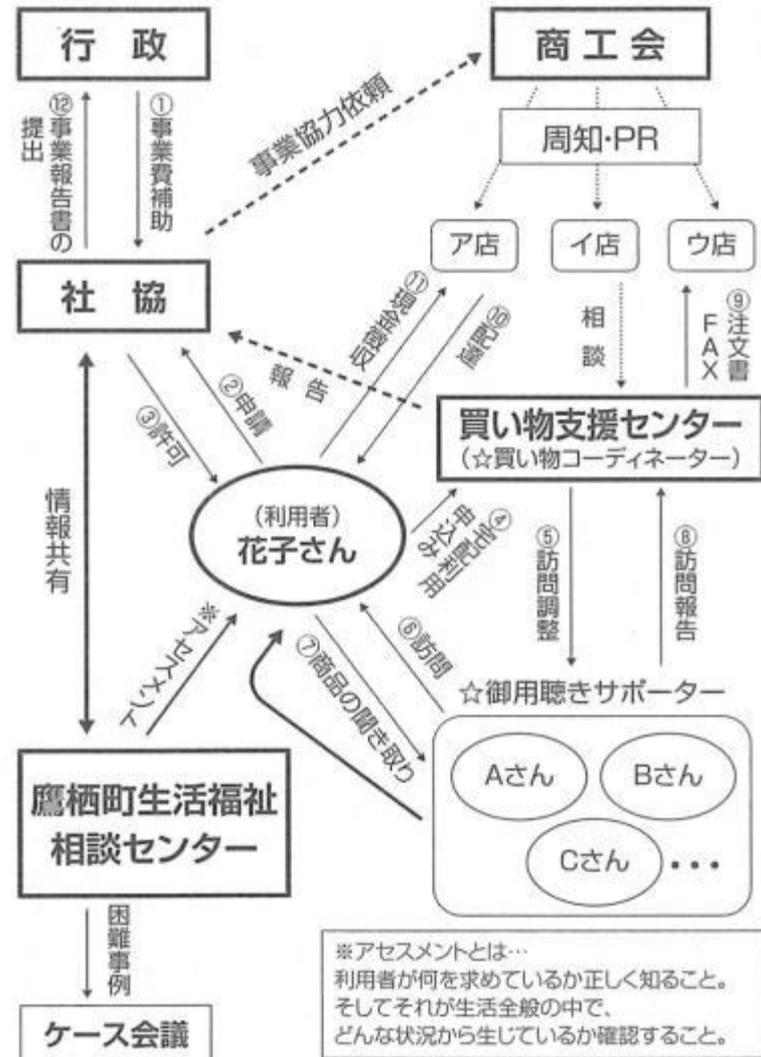
～フォーマルにも、インフォーマルにも精通

③ 元気高齢者が高齢者を支える

～可能性と、危うさ

④ インフォーマルサービスの現実的な構築への道筋

～行政の力の発揮どころ





東京ホームタウンプロジェクトの支援内容(2016年度): ウェブサイト制作



(プロボノチームとの
ミーティング風景)

目的: 新規利用者の増加

支援内容:

一度足を運べばほとんどの人がリピーターになる福祉亭ですが、外から眺めていても、最初の一步が踏み出せない潜在新規利用者がまだまだたくさんいることが課題。誰でも寄れる、地域の居心地のいい居場所を目指し、活動の内容や魅力を発信するために、ウェブサイトをリニューアルします。